

希望

チューリツヒ日本人学校便り

平成 28 年 1 月 4 日発行

第 33 号

発行人 校長 鈴木史良

“さるとし”とはどういう年？

—— “さるとし”の意味を知り、自分をパワーアップさせよう ——

今日から3学期が始まりました。3学期は1年間の学習の総まとめの学期です。これまでの土台をしっかりと踏み固めて、4月からの新しい学年にジャンプしていくのです。土台がぐらぐらしていたり、踏み固められていなかったりすると、大きくジャンプすることはできません。大きな夢を実現していくためには、自分の足元をしっかりと踏み固めること、つまり今自分がやるべきことを全力でやり続けること、こういう姿勢が肝心であり、勉強でもまったく同じことが言えると思います。

さて今年、2016年について、考えてみましょう。日本の元号でいうと平成28年ですね。干支（えと）でいうと“申（さる）年”になります。申年は悪いことがさる（去る）、病気がさる（去る）などといった縁起がよいという説もあります。この申年の「申」という字、動物の「猿」という字と違っていることに気がつきませんでしたか。私は、なぜ違っているのか不思議に思い調べてみました。

すると、今年も申年でも丙申（ひのえさる）という60年に1度の年で、「丙（ひのえ）」という漢字は、形がだんだん明らかになっていくという意味。「申（さる）」という漢字は、もともと稲妻を表した字で、屈折しながらあちこちの方向にはしる様子から、伸びること、植物の実が成熟して香りと味が備わっていくという意味をもっているそうです。動物の「猿」とは全然関係ありませんでしたね。

これらを総合して今年のことについて考えてみると、形が明らかになって、実が成熟していく年とは……これまでのがんばりが形になっていく年、これまで気づけなかったことに気がついて自分が成長していく年と言えると思います。しかし、ぼうっと毎日過ごしていても何も変わりません。そうなるためには、今自分が何をがんばっているのか、きちんと見直して見ることです。そうすると、今後さらなる成長につながる何かが見えてくるだろうと思います。

（3学期始業式 校長の言葉より）



申年

猿年

スキー教室、来週に迫る！

今年度のスキー教室も2泊3日の日程で実施いたします。場所は例年どおりフルムサーベルグですが、今回は公共交通機関(SBB)を使っての移動となりますので、集合・解散場所がウスター駅となります。参加児童生徒は小学部10名、中学部2名の計12名ですが、引率教員は校長以下7名(通訳も含む)で、スキー教室実施期間中は教頭が学校の留守を預かります。

子どもたちはスキー教室に際し、「三つのめあて」を作成しました。

- ・できること たくさん増やして帰ろう ZE!
- ・あいさつで まわりの人を気持ちよく
- ・気づいたら 相手の良さを伝えよう

この「三つのめあて」は、スキー教室中どの子もみな意識し、自分の行動につなげようと努力することでしょう。それができる素直な子どもたちばかりです。安全に気をつけ、事故や病気、怪我のない行事になるよう、職員一同細心の注意を払っていきたいと思います。



ホテル前のゲレンデ(12月下見時)

1月の主要予定



ホームページでの公開はしていません。ご了承ください。